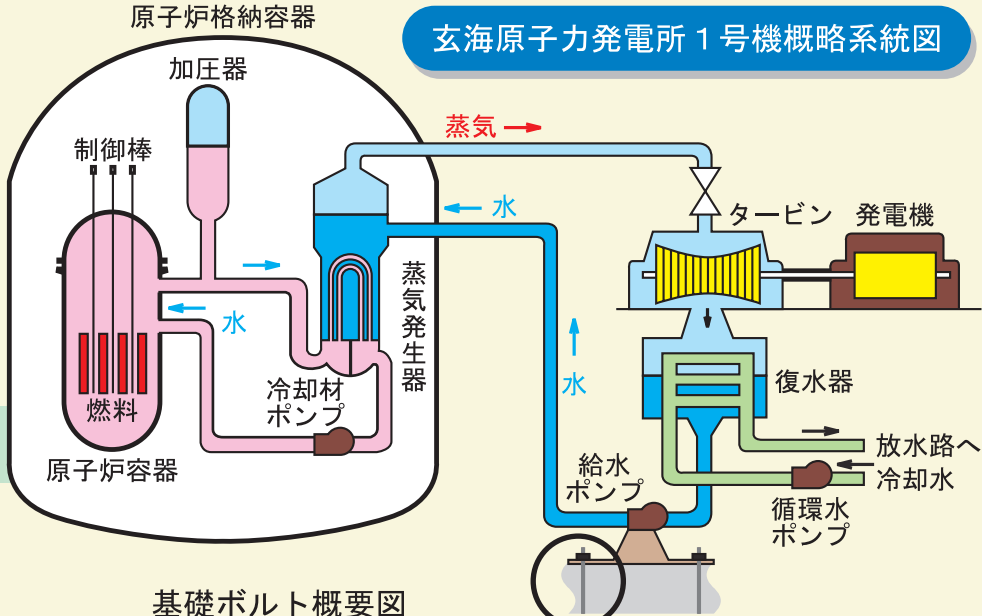


3 玄海原子力発電所 1号機の高経年化対策の評価結果

玄海 1号機は、昭和50年(1975年)10月に運転を開始し、平成17年(2005年)10月に運転開始30年を迎えることから、高経年化に関する検討を行い、その結果を取りまとめた報告書を平成15年12月25日、経済産業省へ提出するとともに佐賀県及び玄海町に提出しています。

玄海原子力発電所 1号機概略系統図



結果

- 大部分の機器は、現状保全の継続により長期安全性の確保が可能
- 一部の機器については、現状の保全に加え、検査充実等が必要（長期保守管理方針）

長期保守管理方針の例

基礎ボルトの腐食等に対する実機サンプリング等による調査

説明
各機器などを固定する基礎ボルトについては、現状、機器に異常な振動がないことなどで健全性を確認していますが、機器の取替えを実施する時などに、実際のボルトを抜いて、腐食の有無等を調査し、確認するものです。

